

第3回豊明市総合教育会議 会議録

日時：平成28年2月16日（火）午後1時00分～午後1時30分

場所：豊明市役所東館3階教育委員会室

構成員

市長 : 小浮 正典
教育委員会 委員長 : 久留島 夕紀
同 委員長職務代理者 : 青山 佳代
同 委員 : 山下 徳治
同 委員 : 兼子 幸夫
教育長 : 市野 光信

事務局

行政経営部長 : 伏屋 一幸
秘書広報課長 : 平下 義之
同課長補佐 : 塚田 力
同秘書担当係長 : 前田 泰之
同秘書担当 : 福島 幸恵

関係部局

教育部長 : 加藤 賢司
指導室長 : 下出 修史
学校教育課長 : 堀井 浩二
生涯学習課長 : 樋口 進
図書館長 : 浅田 利一

(欠席者なし)

1 開会宣言

2 あいさつ

市長 第2回総合教育会議で教育大綱の素案を示させていただき、皆様から活発なご意見をいただきました。それを踏まえて、市長である私と事務局で議論を重ねて直したものを今日再びお示しさせていただいてお

ります。今日可能ならば決定をしたいと考えておりますが、何よりも教育委員の皆様から意見をいただくことが本意でございますので、活発なご意見をいただけましたら幸いです。

委員長 私たちも委員として4, 5回ほど集まりまして「大綱」となるものを考えていますが、シンプルに表現するというのは本当に難しいと思いつながら言葉を吟味してまいりました。今日は皆様の意見をもとに完成したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。会議に入る前に、皆様におはかりしたいことがございます。本会議は豊明市総合教育会議設置要綱により、原則公開となっております。現在5名の方より傍聴の申し出がございしますが、許可してよろしいでしょうか。

委員一同 はい。

事務局 ご異議はございませんでしたので、入室を許可いたします。

傍聴者入室

傍聴者用資料の確認

会議の進行が事務局から市長へ移行

3 議題

大綱（案）について

市長 今日の議題は教育大綱（案）についてでございます。前回から修正した部分について説明をお願いします。

事務局 はい。まずは、前回の総合教育会議において頂きましたご意見を整理させていただきます。

基本理念につきましては、学校教育と生涯学習の理念を一つにまとめるということでした。それから、メッセージ性を強め、強い意志を強調するために文末を「～する」でありますとか、「～させる」という動詞に統一し、分かりやすい簡潔な文にしました。そして、「豊明市は」という主語であることを意識し、統一するという意見をいただきました。これらをもとに、本日（案）としてお配りしております教育大綱（案）について、ご説明をさせていただきます。まず、基本理念につきましては、学校教育と生涯学習の理念を一つにまとめました。さらに、第5次総合計画のキーワードであります「つなぐ」という言葉を使いまして、「生きる力を育み、学びあう心をみんなでつなごう」といたしました。次に、基本方針でございます。まず、全体とし

では先程も申し上げましたが、文末を「～する」または、「～させる」という動詞に統一をし、主語は豊明市であるということ意識した文にしております。

次に、個々の方針についてご説明いたします。①ですが、「多様な個性を尊重する」という言葉と「推進する」という言葉を追加しております。②は、前回「確かな学力」としていたものを、「生きるための学力」といたしました。③は、文末の「育成する」という言葉を追加しております。④は、前回「安全・安心でおいしく栄養のバランスを考慮した学校給食の提供」となっておりましたが、今回は簡潔に「学校給食を中心とした食育を推進する」と変更いたしました。⑤は、前回「地域の教育力の向上」と「家庭教育力の向上」の2つに分かれていたものを一つにまとめ、「家庭」を前に、「地域」を後にしました。そして、最後に「支援する」という言葉を追加いたしました。⑥は、前回文末が名詞になっていましたものを、「高揚させる」という動詞に変更いたしました。⑦は、最初に「ライフスタイルに応じた」という言葉を追加し、文末が前は「普及」だったものを「提供する」という動詞に改めました。⑧及び⑨は、文末を動詞に変更しているのみとなります。以上で説明を終わります。

市長 では、各基本理念、基本方針についてご指摘いただけましたら幸いです。大きなものでも、小さなものでも、どんなことでも構いません。

委員 基本理念も基本方針も上手くすっきりとまとまったと感じています。文章も長くもなく、言葉足らずということもありません。また、日ごろ私が気にしておりますカタカナ語についても、この⑦の「ライフスタイル」や⑨の「センター」などは完全に日本語化しており、日常的に使われている言葉なので全く構わないと思っています。

委員 前回の会議でかなりの時間を費やして言葉について皆さんで考え、その後事務局で綺麗にまとめてもらったという感想です。個別に細かい部分についても、各委員の皆さんからの意見をもとにすっきりとまとめてもらいました。私もこの基本理念と基本方針で良いと思います。

委員長 ⑨については、委員の中でも一度は言葉を入れ替えるなど試行錯誤しましたが、こうしてシンプルにうまくまとまったと思います。

教育長 特に、①～④は学校教育といった子どもたちに関しての基本方針であります。これからの社会で生きていくことが出来る子どもたちの姿を表現していると感じ、大変良いものだと思います。特に変更する点はございません。

委員 豊明が柱として大切にしている学校教育や社会教育といったところを上手く入れていると思います。議論に出ました文体や順番についても、前回の（案）から教育委員会で揉んだ上でこのような形になっていますので、私はこれで良いと思っています。

市長 丁度、第5次総合計画も平成28年度からのスタートになりますので、教育大綱も同じタイミングでスタートさせるために今こうして議論を重ねているところでございます。総合計画では、「みんなでつなぐ幸せのまち豊明」が基本理念となっており、40個のめざすまちの要素を挙げていますが、子どもたちの教育や生涯学習の要素が非常に多いです。市民の皆さんからの意見を集約した状態で作っておりますので、市民の皆さんにとっても、学校教育面や生涯学習面について非常に関心が高いといえます。我々もこの教育大綱（案）を守った上で、学校教育や生涯学習の現場、私の立場からすると予算面で十分に配分してこの理念を促進できるようにしていきたいと考えています。では、この教育大綱（案）でまとまったと考えてよろしいでしょうか。

委員一同 はい。

市長 ありがとうございます。この後の手続きについて説明をお願いします。

事務局 ただいま決定をしていただきましたこの（案）についてパブリックコメントを実施し、その結果を受けて決定にしたいと考えております。次回3月15日の定例教育委員会後に、パブリックコメントがあった場合等、必要に応じて総合教育会議を開催する予定でございます。

委員 質問ですが、パブリックコメントで出てきた意見は、3月15日のときに伝えていただけるということでしょうか。

事務局 はい、お伝えいたします。

市長 もしもコメントが出ている場合には、事前に委員の皆様にご連絡差し上げた状態で総合教育会議の開催を予定しております。特にコメントがなかった場合は、市民の皆様からの承認をいただけたと考えまして、（案）をとったそのままの形で決定となります。コメントが一件でもありましたら、委員の皆様のご負担をかけないよう定例教育委員会後に審議の場を設けます。パブリックコメントを踏まえて、変更すべき点がある場合には変更をしていくという形にしたいと考えております。

委員 今のお話ですと、パブリックコメントがあった場合には3月15日に決定ではなくて、15日に再審議し、後日決定ということでしょうか。

市長 その場で決定できるのであれば、基本的には決定したいと考えております。可能ならば、新年度は新しい教育大綱の体制の下でスタートを

したいためです。他に、次回開催等についてご意見ございますか。

委員一同 特にありません。

市 長 それでは、基本的な議題は以上になりますが、その他に委員の皆様からございますでしょうか。

委員長 第1回総合教育会議にて、双峰小学校と唐竹小学校の統合について検討したいという提案を頂いておりました。その後、教育委員会で協議した中で、唐竹小学校と学区が隣接している大宮小学校に関して、螺貝地区の土地区画整理事業によって大宮小学校の児童数が増加し、教室が不足するのではないかという意見がありました。しかし、今現在区画整理事業が未定でありますので、大宮小学校については今後の状況を注視していくことになりました。

双峰小学校と唐竹小学校については、小規模校のメリットとして児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな教育が出来る反面、集団の中で多用な考え方に触れる機会が減ることや、クラス替えが困難なことから人間関係が固定化しやすいため、切磋琢磨する機会が減少するのではないかという意見がございました。小規模校としてそれぞれメリット・デメリットがありますが、教育委員会としては、子どもたちの教育環境を充実させるために統合が早期に必要なだという判断をいたしました。

長期的に将来を見据えた統廃合の考えとして、小中一貫教育の実施を視野に入れながら、①唐竹小学校との統合を考えた双峰小学校と、更に大宮小学校と校舎建て替え時期において統合をするという点、②栄小学校と館小学校を統合するという点、③豊明中学校と同中学校区内の小学校を小中一貫校にしていくということの3点を考えていかなければなりません。時期については、校舎の老朽化による建て替えの時期に実施することが望ましいと判断いたしました。

市 長 確認をしてよろしいでしょうか。7月以降から教育委員の皆様がずっと議論を重ねてきていただいたことは私も把握しておりますが、今の委員長のご報告について、教育委員皆様の合意を頂いているということでもよろしいでしょうか。

委員一同 はい。

市 長 わかりました。子どもたちの通う学校が変わるという非常に重要な案件について、皆様ありがとうございました。まず、唐竹小学校と双峰小学校については統合が早期に必要なというご判断を頂いておりますので、私どもとしても、行政の立場ではない人でこの統合について最も利害が関係する保護者の代表者の皆様、または外部の学識経験のある

方を交えながら、検討する場を早期に開いて、迅速かつ慎重に議論を重ねていきます。様々な問題も踏まえて最終的な結論を子どもたちも含めて地域の皆さんに示していきたいと思います。

2つ目に、「長期的な小中一貫教育を視野に学校の統合を」というお話を頂きました。平成28年度から施設全体のアセットマネジメントを進め、将来建て替えのタイミングで施設を集約していかなければいけません。我々全体の意識として統一されているのは、縮減ではなく縮充ということです。ソフト面、内容面を更に充実させてより使いやすい施設にしていくという前提で進めてまいります。特に学校は基礎自治体である我々からすると、市民の安心安全を守ることと両立する最も重要な部分を担っていますし、学校教育の中身が統合によって疎かになるということはありません。将来施設の面積を減少させることによって、子どもたちの教育のソフト面を充実させる必要があるのは当然のことですが、それだけでなく、例えば小中一貫教育など、統合によって子どもたちに今の教育以上に良い教育が受けられるという体制にしていく形でアセットマネジメントを考えていかなければいけないと思っています。

唐竹小学校と双峰小学校の件について一番の問題は、1学年1クラスしかないということが今生じており、それが既に課題となっていることです。この課題を踏まえたうえで保護者の皆様や外部の方々と十分議論を重ねていきたいと思っています。このことについて、何か質問はございますか。

委員 はい。今の縮充というお話についてですが、委員長からお話がありましたように、小規模校の良い面はきめ細やかな少人数での教育というところ。統合したからそれが疎かになるのではなく、クラスが3つ、4つあっても、市長がまさしく仰っていた人を含めたソフト面を充実させれば、例えば少人数指導によってきめ細やかな教育は実現可能だと思います。

委員 私は、1学年1クラスという状態を自分自身が過去に経験しています。私が小学生時代に学区の大きな変更がありまして、人数が増えました。小学校3年生までは1学年1クラスで4年生からは2クラスになったので、合同で体育や音楽をやったり、クラス替えを行ったり、非常に活性化するというメリットを実感しています。学校のかたちを大幅に変えるとき、現在そこに通わせている保護者は、自分の子どもがいる間は変えて欲しくないという意識があるかもしれません。しかし、実際に経験した私にもしてお伝えさせていただける場があるのであれば、1

学年1クラスよりは良いところを強調したいと思います。

委員 何か大きなことが起きるとき、特にお母さんは「何で自分の子が通うところが…他にもあるのに」と不安になると思います。不安だからこそ様々な意見が出ると思うので、先ほど市長が仰ったように、慎重に議論を重ねて必ず対話すれば分かっていると思います。最初は対話の舞台にさえ乗ってくれないと思いますが、自分の仕事の経験から、伝えれば人は絶対分かってくれると感じています。きっと良い事も悪い事も統合するしないにかかわらずあると思うので、統合したら少しでも良いことがあるというのをお互いに話し合い議論を重ねていくことが大切だと思います。人が減っていくことは決定的なことですし、何かを変えなくてはいけない時期に来ています。だからこそ真摯に受け止めてじっくり話していくことが大切だと思います。

教育長 教育大綱にもふれることになりますが、これからの社会は自分の知識を活用していく世の中になってきていると思います。そういったことを考えると、より多くの人や自分とは違った考えを持つ子どもとも協同して生きていくという力は重要になってくると思います。そうするとやはり、人間関係が固定化しやすい環境というのは今後を見据えれば改善する必要があると感じていますので、この内容について全体的に賛成でございます。

委員長 私も他の委員が仰っていたように、一番はやはり今のように慎重に進めていただき、縮減ではなく縮充を目指して、1と1あるものを一緒にして1になるのではなく、2になり、3になっていくということを理解していただくことが大切だと感じています。

市長 今委員長が仰ったように、1足す1が1になるだけだと、我々の予算面しか助かりません。例えば、唐竹小学校の子どもが双峰小学校に通うとなると、他の小学校に比べると学区が狭くて歩道橋が整備されていたりしますが、それでもやはり通学路は長くなるし保護者の負担も子どもたちの負担も増えるだけになってしまいます。1足す1が1になるだけではなく、それが2、3になっていくことで「こうなってよかったんだ」と子どもたちにちゃんと思ってもらえるかたちにしたいと考えています。市長部局も教育委員会も教育委員会事務局も、そういったかたちでこの問題は進めていかなければなりません。拙速にせず、これからも細かいところまで議論を重ねた上で進めていきたいと思っています。他にはございませんか。

委員一同 はい。

市長 閉会宣言